

居  
眼  
十  
上  
手  
の

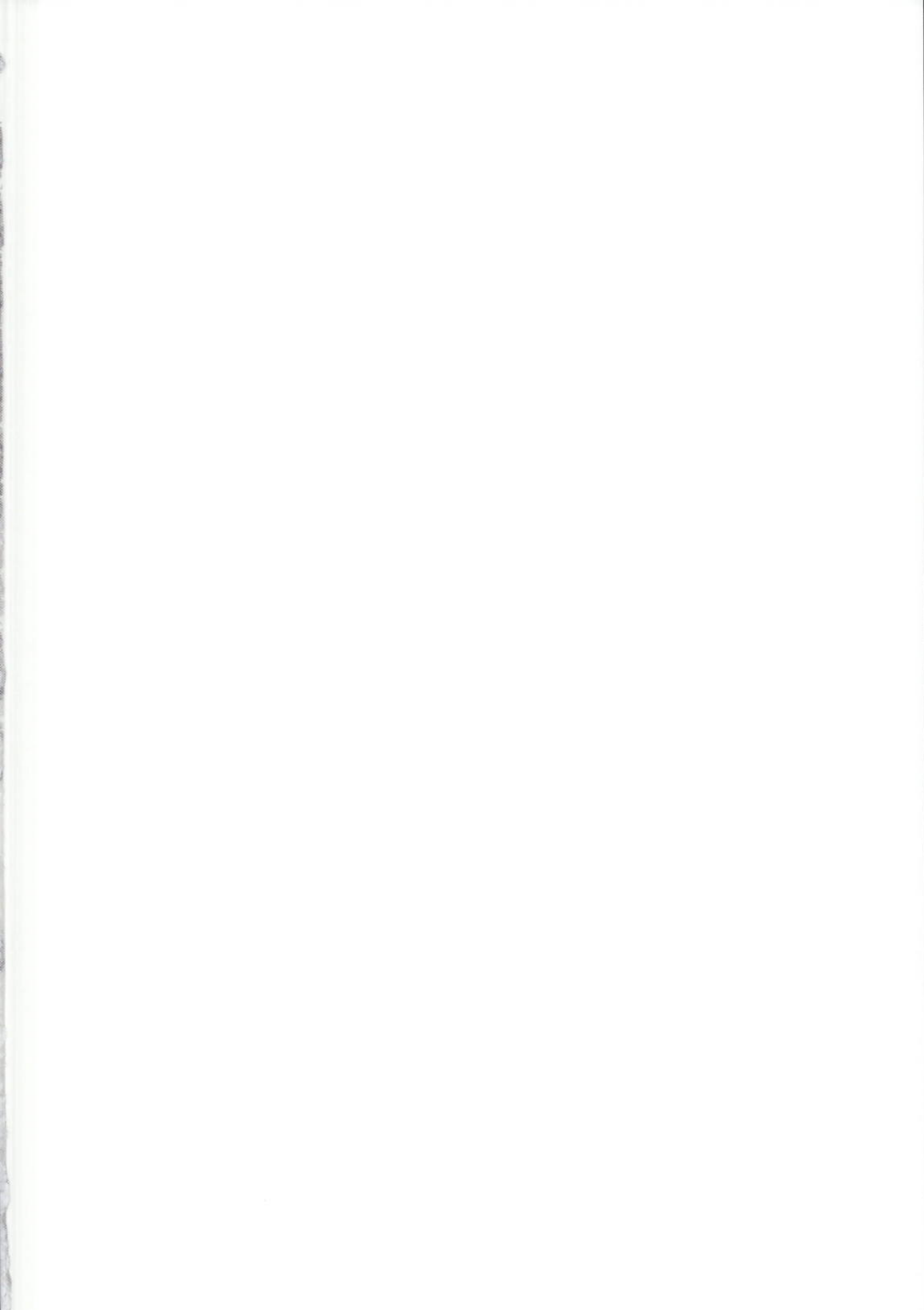
大  
団

書

館



R18  
DOUJIN  
Adult only









知識と日陰の少女  
パチュリー・ノーレッジ

本の傍に在る者こそ  
自分とする  
引きこもりの魔法使い

淑やかで美しい  
その佇まいは  
まさに知識人の  
体現と言えるでしょう

僕はその  
パチュリー様の  
従者の小悪魔

この大図書館の  
司書を勤めるうちの  
一人です

パチュリー様は  
本を読む時間を  
至上の喜びとし  
何よりも尊びます

僕たちは  
その時間を穏やかに  
過ごせるよう  
日々助力をしています

僕としても  
敬愛する主人に  
お仕えしている  
この時間は  
何よりも  
代えがたく  
尊いものです

けれど  
最近――

あ……っ



こうして  
本を読みながら  
眠ってしまうことが  
よくあります

パチュリー様は  
一度寝落ちしてしまうと  
数時間は目覚めません

呼び掛けにも  
反応せず僕は  
困り果ててしまいます



パチュリー様……っ  
ここで寝られては  
お風邪を……っ

しかし  
それ以上に  
困ったことは

パチュリー様……



あまつさえは  
僕は……

パチュリー  
様……っ

ごめん……

なさい……っ



不敬にも  
従者としての  
敬愛を超え  
主人に対し  
恋情を憶えて  
しまい……

パチュリー様……

あまつさえ  
無防備な  
主人を相手に  
劣情にかられて  
しまつて  
いるのです……

パチュリー様  
好き……っ  
パチュリー  
様あ……っ





外出しない  
パチユリー様の肌は  
白く透き通るようで

ほんのりと感じる  
汗の匂いは官能的で  
さえあります

パチユリー様の  
乳房は  
とても大きく  
押し付ける  
指も顔を埋もれて  
しまう程です



そして  
その香りに  
突き動かされて

僕は我を忘れ  
股間を  
擦りつけ...

そのまま  
胸の中で  
果ててしまいます

わっ...  
おっ...





また...  
また...  
やっちゃった  
.....

また...  
また...  
やっちゃった  
.....

た...  
た...

あ...あ...  
あ...あ...

は...  
は...



う...う...  
う...う...

こうして  
日々パチュリー様が  
うたた寝をする度に  
いけない事だと  
分かっているのに  
同じことを  
繰り返してしまいます



自分の恋情も  
告白できない  
不甲斐なさと

あまりに不遜で  
愚かな行為に  
自己嫌悪を募らせ

ごめん  
なさい...!!  
ごめんなさい  
パチュリー様...!!

今日も  
ただただ僕は  
自分を恥じるばかり...

そして  
もう二度と  
このような  
行いはしないと  
硬く誓います

か...  
か...



ただ  
それからも







パチュリー…  
さま…っ

そして  
いつもと違う  
緩んだ寝顔を  
見てしまうと…



パチュリー様は  
寝台に本を持ち込んで  
読むことも  
珍しくありません

落ち着くのか  
そのまま寝落ちする事も  
多々ありました

セゾッ



自分の意志の弱さを  
ただ嘆くほか  
ありません



結局  
僕は抗うことが  
出来ず…  
また同じ事を  
繰り返して  
しまいます

パチユリー様の  
居眠りは  
日に二度三度とあり  
その度に僕は  
連日同じことを  
繰り返してしまっ

と...とうとう  
替えの下着も  
間に合わなくなる  
なんで...

うう...  
僕はまた  
こんな事...っ

い...今だけは...  
絶対に射精は  
出来ない...っ



我慢  
しないと...っ!

ん.....っ



だ...ダメだ  
これ以上は  
射精ちゃう...っ  
我慢...っ  
今日はもう  
我慢...っ





んんん...

んんん...

はあ...

ちよ...っ  
パチュリー様...っ!?

待...ッ

寝ぼけ...!?



あ...

あ...

はの

クズ...

ああ...っ

はあ...

あ...あああ  
なんてことを...っ

とどろかか  
ooooo

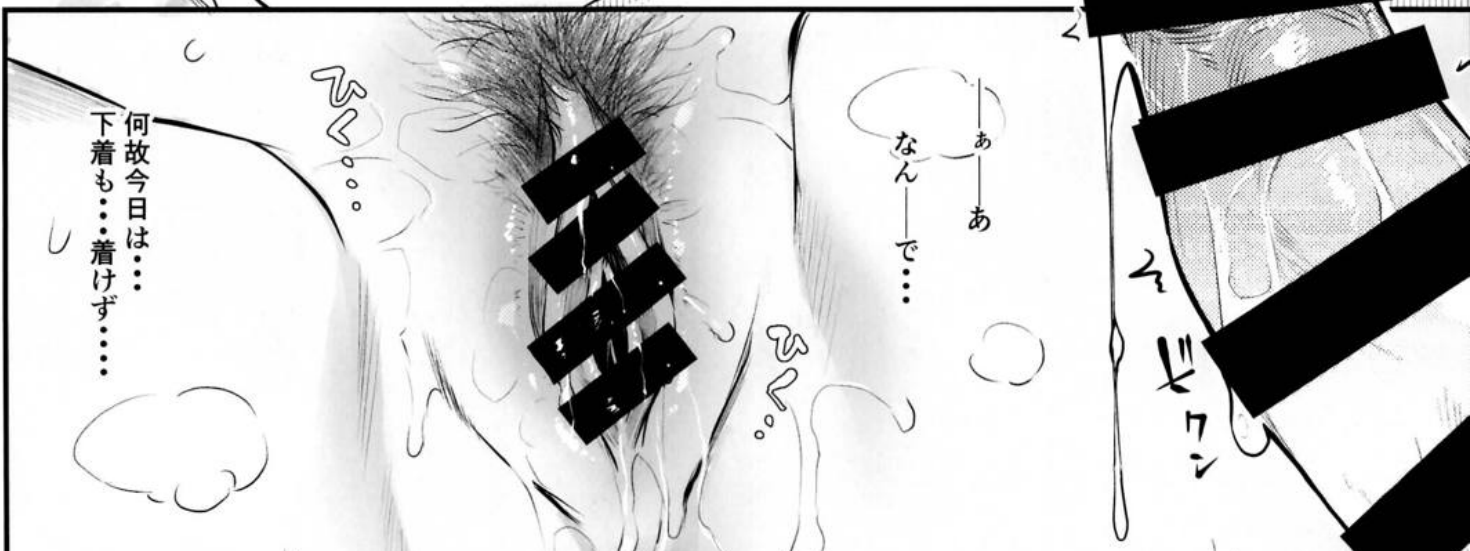
はあ...

はあ...



それから  
つ

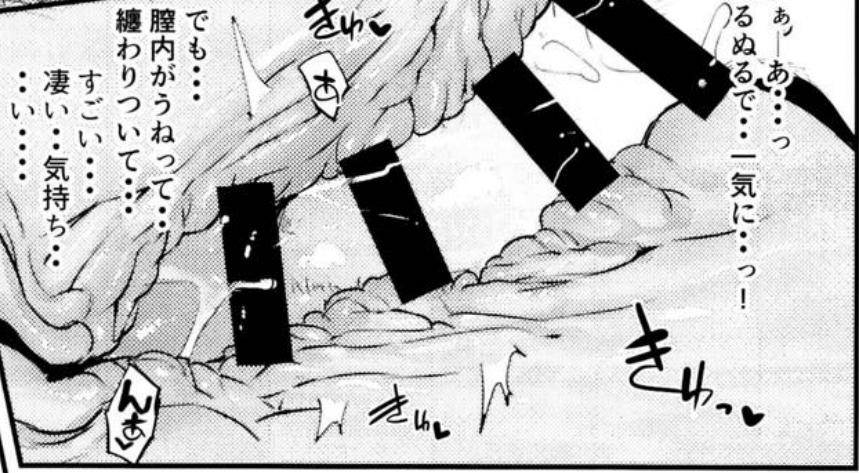
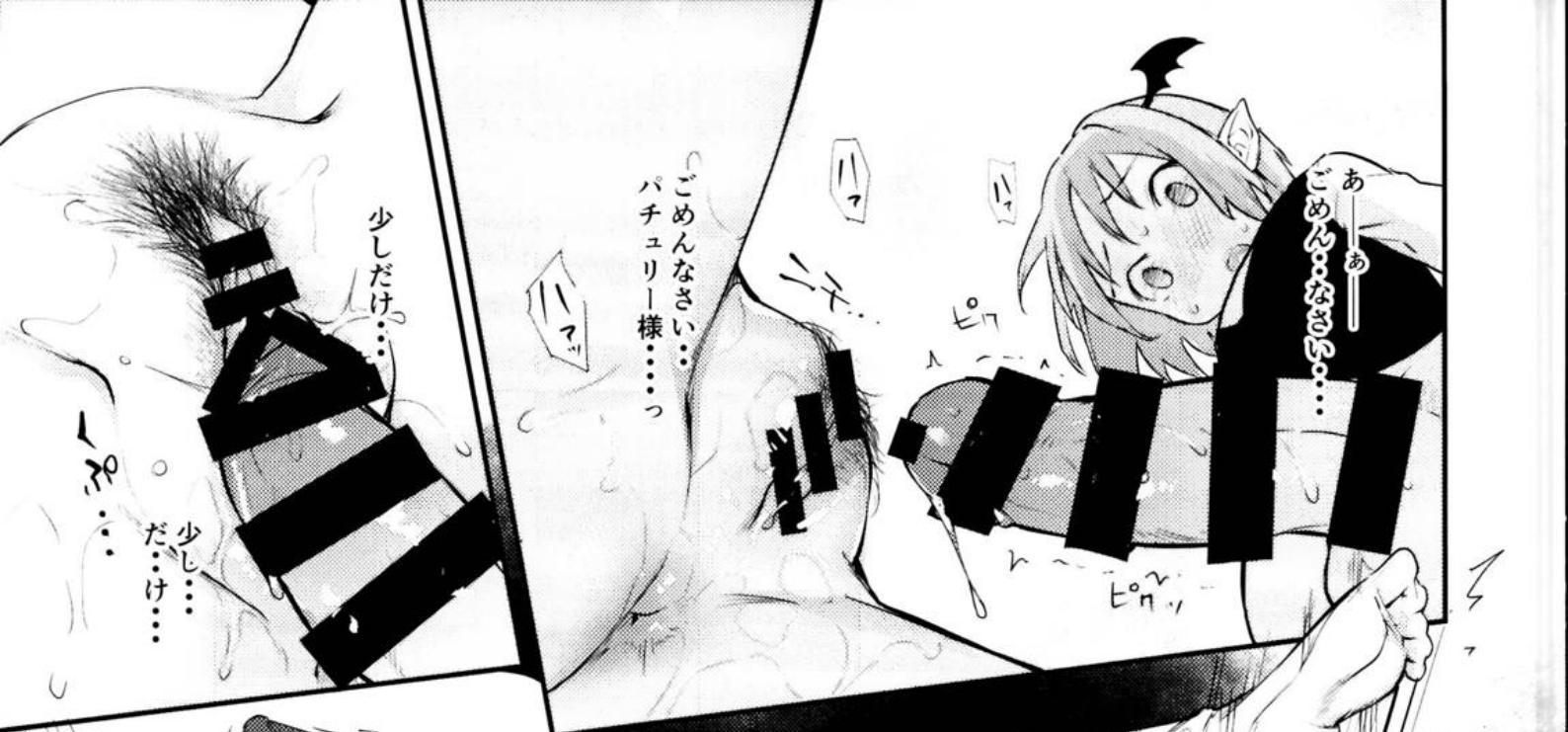
急いで  
お召し物を  
変えて……  
拭って……  
着替えさせて……  
それから……



何故今日は……  
下着も……着けず……

あーあ  
なんーで……







ふえ...?

パチユリー  
さま.....?





いつから  
起きて……っ!?

あ……  
いや……

その……



パチュリー  
様……!?

え……あ  
ほ、本が……っ!?

ど……  
ど……  
ど……



ぐ……  
じり  
う

は……  
!?



お・起きてる  
じゃないですかっ!!

寝てるもん♡  
寝てるもん♡

起きて  
ますっ!!



お……  
お……

寝たふり…!?  
寝たふり  
だったんですか!?

まさか  
ずっと…っ!?

だって…っ

だって…っ!

最初は  
戸惑った  
けど…

貴方に  
甘えられるの  
気持ちよくて…  
懸命な貴方の顔  
見れるのが  
嬉しくて…

その後  
いつもオナニー  
してたの…っ

それが  
止められ  
なくて…っ  
もっと触って…  
甘えてほしくて…  
つい…っ

そ…そんな  
パチュリー様が…!?

そんな事を…  
隠れて…!?

だって…っ





だって。。。

貴方の前だけは。。。  
淑やかな主人で  
いたかったの——っ

ホントは  
いやらしいなんて  
。。。

知られたく  
なかつたから。。。っ

か  
あははは

そ。。。そんな。。

そんなの。。

ズルいですっ！









パチユリー様……っ

うん……♡

私も……  
大好き——♡



知識と日陰の少女  
パチユリー・ノーレッジ

本の傍に在る者  
こそ自分とする  
引きこもりの  
魔法使い

本を読む時間を  
至上の喜びとし  
何よりも尊ぶ



僕は従者として  
その助力を  
するのが務めです

けれど  
パチユリー様は  
時に……

本を読みながら  
ふと眠くなって  
しまう事が  
あるようで……

あ……





その時は——

居眠り  
しないように  
僕が起こさないと  
いけないみたいです——

## ■あとがき

パチュリーは 陥没気味の 乳首かな

恐縮です、みちきんぐと申します

今回のパチュリーさん本は  
知識は多々あれど恋愛経験には乏しく  
自身をいさめるため、日夜自慰行為に励む  
恋愛弱者系魔女という感じになりました。

自分から強く誘うことが出来ない  
恥ずかしがり系おねショタ  
と捉えていただければありがたいです

今回の本には別プロットもあって  
ネーム段階でどうしようか悩みに悩んで  
今回の形になりました

没プロットの方はまた何か別の形で  
活かせたらいいなあと考えております

うまくまとめてお見せできる機会に恵まれたら  
その際は宜しくお願い致します

それではここまでお読みいただきありがとうございました  
次回もまた何かの本で

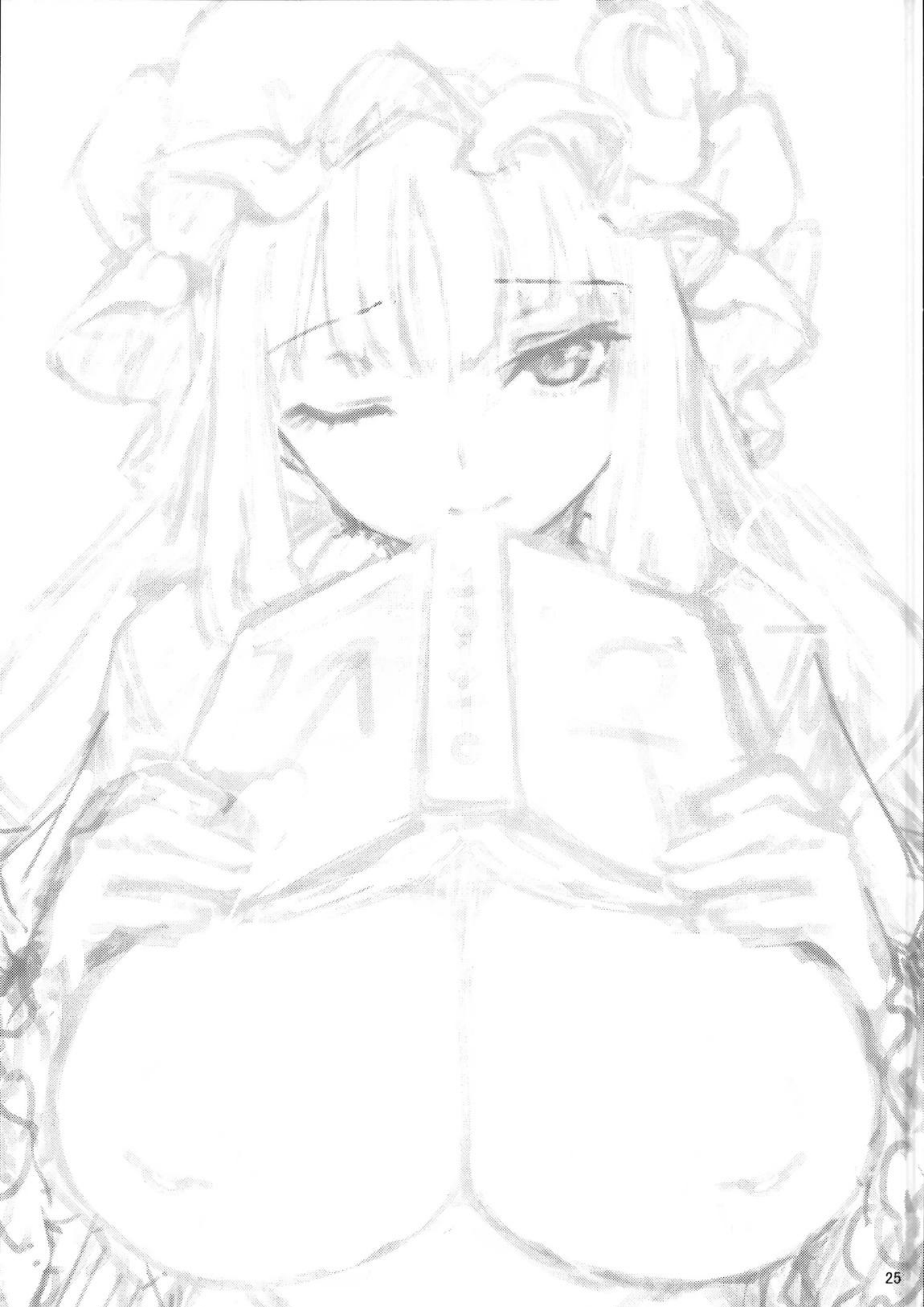
みちきんぐ

製本協力 : よもぎ

題字 : やま







# 居眠り上手の 大田書館

発行日 ■ 2018/12/30

発行元 ■ あんみつよもぎ亭

発行者 ■ みちきんぐ

web ■ <http://anmitsuyomogi.seesaa.net/>

pixiv ■ 2361345

印刷 ■ 株式会社 上野印刷所

画像の転載、データ化、web上での  
データ共有はご遠慮ください



2018.12.30

C95

当スペースにお越し頂きありがとうございます

次回は子守り上手なこの子の予定  
可愛いお姉さん系な感じにしたいな  
と思っております

明るく活発な彼女のおねショタにご期待ください

ご興味のある方は  
また次回もお越しいただければ  
幸いです

おねショタ.









Admitsu Tomogitei.